

(様式第1号)

■ 会議録 □ 会議要旨

会議の名称	第15回芦屋市環境づくり推進会議
日時	令和5年11月21日(火) 14:00~16:00
場所	芦屋市男女共同参画センター(分庁舎)2階 大会議室2
出席者	会長 長井 彦一郎 副会長 池内 清 委員 大脇 巧 委員 武田 誠 委員 村上 順子 委員 半田 孝 委員 浜橋 多恵子 委員 松下 仁美 委員 山下 大樹 委員 大上 勉
事務局	環境課長 長良 晶子 保全係長 岡本 祐子 課員 芝本 裕真
会議の公開	■ 公開 ----- □ 非公開 □ 一部公開 会議の冒頭に諮り、出席者○人中○人の賛成多数により決定した。 〔芦屋市情報公開条例第19条の規定により非公開・一部公開は出席者の3分の2以上の賛成が必要〕 <非公開・一部公開とした場合の理由>
傍聴者数	0人(公開又は一部公開の場合に記入すること。)

1 会議次第

- (1) 開会
- (2) 議事
  - ア 令和5年度「環境フェスタ」の振り返り
  - イ 第12期の活動の振り返り
- (3) 閉会

2 提出資料

会議次第

- 【資料①】 令和5年度「環境フェスタ」アンケート集計表
- 【資料②】 令和5年度「ポスター展」(環境づくり推進会議賞)入賞者一覧
- 【資料③】 令和5年度「子ども環境作文コンクール」アンケート集計表

3 審議内容

(事務局)

本日は、お忙しい中ご出席いただきありがとうございます。  
定刻となりましたので、ただいまから第12期第15回芦屋市環境づくり推進会議を開催させていただきます。長井会長と村上委員は本日遅れて来られると連絡がありました。  
それでは池内副会長、会議の進行をお願いいたします。

(池内副会長)

はい。まず、事務局から委員の出席状況の報告をお願いします。

(事務局)

委員10名中、本日10名がご出席でございます。なお、長井会長と村上委員は後から遅れて来られます。

半数以上の出席をいただいておりますので、本会議は成立しております。

(池内副会長)

ありがとうございます。

本日、傍聴の方はいらっしゃいますか？

(事務局)

傍聴の方はいらっしゃいません

(池内副会長)

それでは、議事に入ります。次第に沿って、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

はい。(資料の確認)

まずは、令和5年度「環境フェスタ」の振り返りについてです。

9月に総合公園で環境フェスタを開催し、無事に終えることができました。改めて、皆様ありがとうございました。

初めて総合公園で開催し、野外で活動して身近な芦屋の自然に触れていただけて良かった反面、少しくイズラリーの問題が難しかったりとそれぞれ良かった点・課題点等があったと思います。今回、環境フェスタにご参加いただいた方へのアンケート結果【資料①】を踏まえながら、良かった点や課題点等をご意見いただき、次回の環境フェスタへの参考にさせていただければと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

(池内副会長)

ありがとうございます。

今回の環境フェスタについてご意見があればお願いいたします。

(事務局)

クイズラリーに参加いただいた方はもっといらしたのですが、最後にアンケートを回収できたのが5枚と少なくなっています。

【環境フェスタは楽しかったですか】の回答は「①とても楽しかった」が1人、「②楽しかった」が2人、「③少しむずかしかった」が1人、「⑤回答なし」が1人となっています。

【今回参加いただいた目的は何ですか】に対しては「自然環境について勉強したいから」が一番多く4人。「ポスターや展示を見たかったから」「化石を見たかったから」がそれぞれ3人で、広報誌やホームページを見て来てくださったのではないかと思います。また、「友達に誘われたから」の1人の方も事前に予定して来ていただいたのではないかと考えます。

化石やパナソニックのソーラートレイン、太陽の黒点観察、紫外線で色が変わるビーズ等用意していただき、来場者の反応も非常に良い展示だったのではないかと感じました。【また参加したいと思いますか】の質問には5人全員が「①参加したい」と答えていただき嬉しく思っ

ています。また、「思いがけずイベントに参加できた」と書いてくださった方もいますので、当日の会場付近での声掛け等もうまく機能していたのではないかと考えています。お一人ずつご意見いただけますでしょうか。

(大脇委員)

感想の前に一つ質問なのですが、スタンプラリーは何人参加されたのでしょうか。

(事務局)

時間が短かったこともありますが、10組程だったと思います。

(大脇委員)

ということは、スタンプラリー参加者の半分くらいがアンケートに答えてくれたということですね。分かりました。

前の週に開催されたイベントの参加者数が多すぎたということを受けて、広報を控えたという事情があるので、参加者が少なかったことに関しては仕方なかったと思います。

ただ、スタンプラリーという新しい企画を取り組むにあたっての準備期間が短く、我々もあまりやり切れていないと感じていますので、もし来年も同じような企画や新しいことをするのであれば、もう少し早めに準備できれば良いと感じました。

もし、来年も実施するとすれば開催時間を長くするかどうか、内容をもう少し充実させるかということも考えました。次回以降しっかり広報して、たくさんの来場者が来る見込みであれば、開催時間を長くした方が良いと思います。

(武田委員)

参加人数が少なくて寂しく感じましたので、もう少し人が来てくれるような方法で開催できたら良いと思います。子どもが参加するイベントとしては、室内でのいろんな工作等がとても楽しそうに盛り上がっていましたので、とても良いと思いました。

(村上委員)

今回の形態は初めてされるということでしたが、次回も同じような事をされるのであれば、目的や来場者のターゲット等を絞って用意できたら良いと思いました。後は、準備期間をしっかりと取ること、総合公園という同じ市の施設を使用しているので、施設側と連携を取れば広報をもう少ししっかりできるのではないかと思います。

(山下委員)

アンケートを見て、【環境フェスタはたのしかったですか】の選択肢が①と②は「①とても楽しかった」「②楽しかった」に対し、③と④は「③少しむずかしかった」「④むずかしかった」というのは意味が一致していないと思いましたので、③と④は「楽しくなかった」になるのではないかと。「むずかしかった」というのは、クイズラリーのことを指しているのではないかと感じます。今回、クイズラリーなのかスタンプラリーなのか等、自分達もどういった形でやっていくのか悩みながらしていて、整理しきれていない部分もあったと思います。ただ、参加されていた方の表情を見ていたら楽しんでいただけていたようで、やって良かったという思いがあります。

また、【特におもしろかったのは何ですか】の回答欄は、自由に書いてもらう形式ですが、項目にチェックをしていただくといった複数選択制にすれば、好評だったものと逆に工夫が必要なものを知れるのではないかと思います。

【自由に感想をお書きください】のところを見ると、我々が事前に想定していたよりも年齢が低い子どもが多かったところが「幼児にもわかりやすいクイズであればうれしかった」という意見になるのではないかと思います。ただ、クイズラリーを現地で見ていると、親子で一緒に考えていることは大変良いと思えましたので、簡単なものと難しいものを織り交ぜてできると良いと思えました。

ただ、こういったスタイルを変えるのではなく回数を重ねて良くなっていくと思えますので、何年かやって成果を見ていく形で続けていけたらよいと思えました。

(大上委員)

自分は市職員の立場で参加させていただいているので手厳しい意見にはなるのですが、行政の関わる事業として、委員の皆様のお時間とお力をお借りして開催しているにも関わらず、今回の少ない参加人数はとても残念な結果だったと思います。村上委員のご指摘のとおり周知すること、場所、時間帯、ターゲットを絞ること等課題がたくさんありました。ただ皆様の知見や関心ごとを活用させていただいて、広く芦屋の自然環境や自然に親しむきっかけを十分に提供でき、人数は少なかったですが来場者に満足していただけたとは感じています。しかし、この来場者数では、行政の関わる事業の在り方としては疑問符を付けざるを得ないです。事務局の方からは初めての開催場所で企画も初めての試みでしたので、広く周知して来場者がたくさん来すぎてしまったときに、安全面や適切な案内ができないことへの不安があったと説明を受けましたが、それならばそれに即した事前準備ができたのではないかと思います。もっと周知をし、開催時間を延ばすのであれば、ボランティア等で人員を確保すること等の方法があったのではないかと思います。今いる人数で対応できるのがこの規模という考えであれば、他の啓蒙啓発イベントを開催している人達からすると、じゃあやらなくていいという意見になると思います。

アンケートでは、【今回参加いただいた目的は何ですか】という項目がありますが、「何を見て知りましたか」というのをに入れていただけたら、何でイベントを知り参加されたのか分かって良いと思います。後、イベント参加人数がきちんと把握できていない上に主催者側が楽しかったというのだけでは、イベント開催するという意味では非常にもったいないと思います。

(松下委員)

私達は小学生くらいの年代を想定してクイズを考えていましたが、当日見てみると、幼稚園くらいの年齢の子どもが多く、お父さんが一生懸命考えていて、子どもはぼかんとしているところを見かけたのが印象に残りました。その年頃の子どもの向けのクイズとなると、「葉っぱの色は何色？・・・緑。」というような、簡単な問題が適切ではないかと考えましたので、そういった問題も何問か用意した方が良いと思えました。

クイズを作るのに時間が短かったので、2回くらい会議で吟味して、答えと解説を共有したいと思えました。受付で答え合わせをしながら解説ができなかったのもう少し時間を取ってほしいと思えました。

(浜橋委員)

環境フェスタの「環境」って、ごみ問題なのか、自然なのか、どの分野を指しているのかが自分の中では悩みでしたので、取り組むときにその部分を整理つけた方が良いと思えました。

今回は野外の植物も見られ、室内で工作等もできるし、とてもダイナミックで楽しめる内容でしたので、もっとたくさんの人に来てほしかったと思います。ただ、野外での活動は「暑すぎて外に出ない」という人もおられたので、開催時期と時間を検討した方が良いと思えました。

(半田委員)

今回は初めての方法でイベントをしたので、1回目で全て成功するというのは大変難しいです。来年も同じ形式でやってみて良いと思います。まだまだ改良点がありますので、この方法で環境フェスタを是非したいと思います。

私の担当では、太陽の黒点観察でしたがお天気に恵まれてとても綺麗に観察することができました。また、天気が良くなかった時のために紫外線で色が変わるビーズを用意し、子ども達にプレゼントしました。大人にもとても好評でした。

イベント全体の話としては、もっと来場者に来てほしいこと。広報紙のカレンダーの部分に載せてもらえると目につきやすく、市民が情報を得やすいと思います。スタッフの人数を増やす、もしくは、協力してくれる団体、グループにお願いすること。個人的には、化石と黒点観察の2つを担当していて大変でしたので、後継者になるような人が来てくれると嬉しいです。中高生の理科系クラブの生徒さんに事前に教えて手伝っていただけたらありがたいです。芦屋には天体に関する団体もありますので、その団員さんにも協力していただけると良いなと思います。そうやって輪を広げられたら良いのではないかと思います。

インターネットを活用してイベントを探す方もいますので、市の広報に加えてSNS等を活用できたら簡単に知れるのではないかと思います。

(池内委員)

今回は、内容的には黒点観察、工作、自然観察と充実していて面白かったと思います。来場者数が少ない問題は、広報の仕方もあったと思いますが、場所の問題もあると思います。市内から外れているので来場するのが億劫になってしまうのではないのでしょうか。

あとは、単独ではなく、他のイベントと共同でしてみるのも良いかと思います。その日に総合公園に行けば、色々なことができその中の一つに環境フェスタもやっているという状態なら人が集まりやすくなるのではないかと思います。初めからそれが目的で来ているのではないけれど、飛び込みできてもらおうような形が取れます。もう一つのやり方としては、事前申し込み制にして、参加人数を把握する方法もあります。来場者30人程度等と決めておいて、広報をして電話等で申し込みをしていただくものです。当日に飛び込みで来てもらうのか、事前申し込みで来てもらうのかの二つの方法ですが、当日飛び込みの方が人数は増えると思いますが、内容は軽めにしないといけないと思います。

あと、当日のお土産みたいなものを広報に載せてみるとよいかと思います。スタンプラリーの景品や工作の完成品を載せると興味を持ってくれるのではないかと思います。

当日の時間も、午前と午後の時間でやった方がふらっと来て参加しやすいのではないかと思います。昼からの時間帯に大きな公園にふらっと行くのは難しいので、午前中の方が立ち寄りやすいのではないかと思います。

アンケートを見ると「自然環境について勉強したいから」という方が多いので、興味がある人は楽しんでもらったのではないかと思います。クイズラリーも案内役が付いて回っても良いのかなと思います。

太陽の黒点観察は、今回、望遠鏡1台でしていましたが、もし人数が多くなるようでしたら複数台でしたほうが良いと思います。

クイズラリーに関しては、初級、中級、上級とレベル分けをしても良いと思います。もっと芦屋市の自然に目を向けてもらえる機会になればと思います。

(長井会長)

環境フェスタについてですが、来場者が少なかったことはありますが、この少ない人員と短

い準備期間での開催ということを考えてよくできていたと感じます。

内容的には、クイズが難しいというのは、すぐに改善できますので問題ないところだと思います。先ほど委員のお話にも出ましたが、多団体と一緒にやると規模が大きくできると思いますが、環境づくり推進会議は年度内に何をテーマにするかというところから会議が始まりますので、どうしても単独でやることになるのは仕方ないと思います。

イベントは集客というのがいつも苦戦するところだと思いますので、いかに知ってもらってその中からさらに内容を見て、選んで来てもらうということが大事だと思います。

環境フェスタという名前ですが、例えば「学習会」だと単発でやっていくような取り組みに感じますが、対して「フェスタ」というのはとても大きなイメージがあります。「第1回」「第2回」等が付いていくと継続してやっているイベントであるイメージになり、市民の皆さんにも浸透しやすく、継続しやすくなるのではないかと感じます。そうすると前回までの内容に囚われてしまう恐れもありますが、環境のカテゴリーは広いので次期委員の方達がやりたいこと等を考えておられる場合に、この大きな「フェスタ」の中に例えば清掃活動や環境学習会等も盛り込めるようなイベントにしていけたら良いと思います。また、任期が終了された委員の方々にもまた参加していただけるようなネットワークを広げていけたら良いと考えています。

(事務局)

この12期の皆様に、最初に環境フェスタでどのようなことをやりたいかのご意見をいただいたのですが、当初は8月の夏休み時期にできるイベントでという趣向から始まって、場所も総合公園でやることになりました。環境団体さんも参加されるので、ある程度のクオリティのものが提供できるのはわかっていたのですが、それにプラスアルファで環境づくり推進会議としてどのような啓発やイベントができるかといった内容だったと思います。クイズラリーを用意することも初めての試みでしたので、勉強が必要な部分はありました。人を集める部分では、室内でのワークショップは事前申し込みで良いかと思いますが、野外のものは飛び入りで参加できた方が楽しめると思いますので、どういう風にするかというのは課題だと思います。次年度以降も環境フェスタを続けていけたらと思っております。

(長井会長)

ありがとうございます。

それでは、次の議題について、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

続いては、第12期の活動の振り返りについてです。

まず初めに、前回、実施しましたポスター展の審査結果について、改めて皆様に報告・共有させていただきます。【資料②】のとおり、小学生の部が5作品、中学生の部が5作品の合計10作品が環境づくり推進会議賞として決定しました。続いて、作文コンクールの結果についてですが、今回は優秀賞が1名、佳作が2名の合計3名が入賞として決定しました。展示については、いずれも12月11日～12月26日の期間を予定しています。

次に、今年度作文・ポスターコンクールを応募していただいた際の子ども達からのアンケートを【資料③】のとおり集計しました。こちらのアンケートは、子ども達が芦屋市内の環境について普段どのように感じているかを把握するためのものですので、委員の皆様からご意見やご感想、また、これまでの活動の振り返り等していただければと思います。

(長井会長)

ありがとうございます。

第12期の活動についてご意見・ご感想をお願いいたします。

作文・ポスター展示をしているというのはホームページ等に載せているのでしょうか。

(事務局)

そうです。ホームページに掲載しています。受賞者にもお手紙でお知らせしています。他の用事で市役所に来られた方にも見ていただけるかと思えます。

アンケート結果についてもお配りしておりますので併せてご覧ください。例年と比べると変化はないように見られます。

(長井会長)

アンケートについて、【問1 あなたが環境の学習をする時に、助けになるものは何ですか?】の回答は「インターネット」と「家族」が多いですね。小学生に聞いたからでしょうか。

(池内委員)

この問いの答えに合わせて、例えば家族が環境学習の助けになるのであれば、家族向けに環境を楽しめる場を作らないといけないという目安になりますね。このアンケートの結果を生かせるようにしていきたいです。

(大上委員)

このアンケートは、小学生と中学生を対象としているのでしょうか。

(事務局)

小学生だけです。環境づくり推進会議が主催した作文・ポスターコンクールの中で応募用紙に付けているもので、実際に窓口等で提出されたものとなっています。

(池内委員)

【問4 環境を守る活動の中で、どんな活動に参加したいですか?】の回答に「生き物調査」が一番多いことを受けて、今後このような取り組みをできるようにしていきたいです。実際に野外に出て自然に触れることが大切ですからね。「ごみ拾い」という回答も多いです。芦屋川のごみ拾いをしている団体がいくつかありますが、ごみ拾いと一緒に生き物を観察してもよいと思います。今後の活動の参考になると思います。

(山下委員)

アンケートは何年くらい続けて取られていますか。例えば、推移を見て分析されているのですか。

(事務局)

7年から8年くらい続けて取っています。まだ10年も経っていないので、数年単位の推移は出していませんが、データとして毎年報告しています。

(山下委員)

小学生は、基本同じ校区内で活動したり遊んだりすることが多いと思いますが、例えば、山側の校区の子ども達と海側の校区の子ども達では自然環境にも違いがありますし、一方でどのように子ども達は自然に飛び込んでいるのかなと少し興味がありました。

この推進会議をとおして自然に触れることの大切さを改めて認識しましたし、学校以外でこのようなきっかけ作りを目指して活動されていることにとってもありがたいなと感じましたので、もっとたくさんの方に体験していただければと思いました。

(大上委員)

このアンケートに関しては、作文やポスターを提出してくれた自然や環境に興味のある子どもが答えてくれていて、数も今年は11人なので、経年推移を見るというのには向いていないかもしれないです。もう少し多くの子どもの意見を聞きたいのですが、実現させるのは難しいですね。

(池内委員)

今回描いてもらった絵を見ていても、環境汚染等のテーマで自分の現実的な実感ではなく社会的な構造に則って絵を描いてしまっているものが結構あります。テレビやネットで流れている環境汚染等を見て作られた作文やポスターだなと感じるものがみられましたが、実際に自然に触れて描いてもらうことが大切ですからね。例えばマイクロプラスチックの問題等もビニールのごみ袋のイメージを皆さん持ちますが、実際は少し違っている部分もあるので、そういったところもお話していきたいと思っています。

(長井会長)

アンケートを見ていると、ネットやメディアの情報が多いと読み取れます。もっと自分で体験しながら環境を学べるとよいと思います。学校ではそういったものを詳しくできないし、家庭でも難しいので、ちょうどその隙間の部分をやっていきたいですね。小学生くらいの子どもの頃に環境について考えて触れてもらうことは将来につながると思います。

当初予定していた議事は全て終わりましたが、他に事務局からございますか。

(事務局)

前回の会議でもお伝えしておりましたが、本日の会議をもちまして、第12期の芦屋市環境づくり推進会議が終了いたします。それに伴い、第12期委員である芦屋市子ども会連絡協議会の「武田さん」、市民公募委員の「浜橋さん、松下さん」が本日で最後となります。「武田さん、浜橋さん、松下さん」は令和3年から約2年間、環境フェスタや作文コンクール・ポスター展等の様々な場面でご協力いただきました。

最後に委員の皆様から一言ずつご感想をいただければと思います。まずは、長井会長からお願いいたします。

-----各委員、感想と挨拶を述べる。-----

(事務局)

皆様ありがとうございました。

コロナも明け、環境フェスタや野外での活動等第12期からようやく環境づくり推進会議従来の活動ができました。一方で、当初皆様からご提案いただいた活動を全て取り組むことはできませんでしたが、これまでの皆様のご意見やご協力をもとに第13期、さらに芦屋市のより良い環境づくりを推進していきたいと思っています。今後、ご機会がございましたら、環境フェスタや作文コンクール、ポスター展等にもお越しいただければと思います。

ご多忙の中、第12期の皆様ありがとうございました。



(会長)

当初予定していた議事は全て終わりましたが、他に何かございますか。  
ないようでしたら、これで第12期の第15回環境づくり推進会議を終了します。  
ありがとうございました。

以上